学校番号	309

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語時事問題研究	2	2	Impact ISSUES 1

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次コミュニケーションの授業で培った英語力を基礎とし、英語で時事問題について考えて自分の考えを発信することができる能力の育成をめざす。身の回りで起こっている時事問題について自分の考えを持ち、英語によるペアワークやプレゼンテーション等で意見交換を行うことで、時事問題への理解を深めていく。加えて授業を通して得た時事問題などに関する情報から知見を広げ、考える力も育む。

日々の授業で取り組んだ内容を復習したうえで課題等にも取り組み、ペアワーク等でも積極的に英語で意見交換するなど、主体的に授業に取り組むこと。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・時事問題についてのまとまった英語を聞き、扱われている時事問題を把握することができる。 ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞くことができる。	・時事問題についてのまとまった英語を読み、概要や要点、詳細をとらえることができる。	・時事問題に関して、具体的なデータや理由を示しながら説得力をもって賛成や反対の意見を述べることができる。	・時事問題やその問題に関する自分の考えを、理由や具体例を添えて説明することができる。またその説明に関して質疑応答をすることができる。	・時事問題に関して、具体的な事例や理由を添えて、論理の展開が明確な文を工夫して書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の４技能に（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ・文章を通じて時事問題とその原因などを理解している。 ・各題材の文化的背景などの情報を自ら収取し、知識として吸収している。 ・①定期考査　②課題　③言語活動の理解・取り組み状況において評価	・内容について、情報の交換や、自分の考えを論理的に表現することができる。 ・各題材で学んだ語彙・重要表現や得た背景情報を駆使して、提起された時事問題に関して、内容の要点を英語で表現できる。 ・①定期考査　②課題　③言語活動の理解・取り組み状況において評価	・他者を尊重し相手に配慮しながら、学習した内容を活用し自分の意見を外国語で話したり書いたりして表現しようとしている。 ・社会問題及びその背景にある事柄に関心を持ち、自律的、自主的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ・①定期考査　②課題　③言語活動の理解・取り組み状況において評価
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	UNIT1 “個性と偏見“ UNIT2 “友情と倫理” UNIT3 “趣味と中毒“	聞くこと	a: 音声や相手の発話を自然なスピードで聞き、内容を把握できる。会話では、積極的に相手の意見に耳を傾ける能動的姿勢がある。 b: 聞き取った内容や扱われている時事問題を自分が知っている背景知識と結びつけて、多角的に理解することができる。 c: 音声や相手の発話を聞き、不明点があれば質問をするなど、理解しようと努めている。	①定期考査 ②授業中の言語活動の理解度・取組 ③課題への取組
		読むこと	a: 読んだ時事問題の要旨をまとめることができる。本単元の重要語彙や表現について理解している。 b: 扱われている時事問題を知識として吸収しており、表現活動に必要な表現を理解することができている。 c: 扱われている時事問題に対して、自分の意見を持つことができる。	①定期考査 ②授業中の言語活動の理解度・取組 ③課題への取組
		話すこと（やり取り）	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 扱われている時事問題の内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: 自分の意見を効果的に相手に伝えるために、プレゼンテーション・議論・討論などに必要なスキルを、適宜場面に応じて使いこなし相手に伝えようとしている。	①授業中の言語活動の理解度・取組 ②課題への取組
		書くこと	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た時事問題や自分の意見を論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 扱われている時事問題について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: エッセイライティングの手法に則り論理を展開し、説得力のある文章を書こうとしている。	①定期考査 ②授業中の言語活動の理解度・取組 ③課題への取組
	中間考査			
	UNIT4 “SNS と成功” UNIT5 “男女平等” UNIT6 “国際結婚 “ UNIT7 “家族の価値観”	聞くこと	a: 音声や相手の発話を自然なスピードで聞き、内容を把握できる。会話では、積極的に相手の意見に耳を傾ける能動的姿勢がある。 b: 聞き取った内容や扱われている時事問題を自分が知っている背景知識と結びつけて、多角的に理解することができる。 c: 音声や相手の発話を聞き、不明点があれば質問をするなど、理解しようと努めている。	①定期考査 ②授業中の言語活動の理解度・取組 ③課題への取組
		読むこと	a: 読んだ時事問題の要旨をまとめることができる。本単元の重要語彙や表現について理解している。 b: 扱われている時事問題を知識として吸収しており、表現活動に必要な表現を理解することができている。 c: 扱われている時事問題に対して、自分の意見を持つことができる。	①定期考査 ②授業中の言語活動の理解度・取組 ③課題への取組
		話すこと（発表）	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 扱われている時事問題の内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: 自分の意見を効果的に相手に伝えるために、プレゼンテーション・議論・討論などに必要なスキルを、適宜場面に応じて使いこなし相手に伝えようとしている。	②授業中の言語活動の理解度・取組 ③課題への取組
		書くこと	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た時事問題や自分の意見を論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 扱われている時事問題について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: エッセイライティングの手法に則り論理を展開し、説得力のある文章を書こうとしている。	①定期考査 ②授業中の言語活動の理解度・取組 ③課題への取組
	期末考査			
2	UNIT8 “ネット上の人間関係” UNIT9 “テクノロジーと世代間	聞くこと	a: 音声や相手の発話を自然なスピードで聞き、内容を把握できる。会話では、積極的に相手の意見に耳を傾ける能動的姿勢がある。 b: 聞き取った内容や扱われている時事問題を自分が知っている背景知識と結びつけて、多角的に理解することができる。	①定期考査 ②授業中の言語活動の理解度・取組 ③課題への取組

	格差” UNIT10 “趣味と娯楽” UNIT11 “マナー・ 道徳倫理”		c: 音声や相手の発話を聞き、不明点があれば質問をするなど、理解しようと努めている。	
		読むこと	a: 読んだ時事問題の要旨をまとめることができる。本単元の重要語彙や表現について理解している。 b: 扱われている時事問題を知識として吸収しており、表現活動に必要な表現を理解することができている。 c: 扱われている時事問題に対して、自分の意見を持つことができる。	①定期考査 ②授業中の言語活動の理解度・取組 ③課題への取組
		話すこと（やり取り）	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 扱われている時事問題の内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: 自分の意見を効果的に相手に伝えるために、プレゼンテーション・議論・討論などに必要なスキルを、適宜場面に応じて使いこなし相手に伝えようとしている。	②授業中の言語活動の理解度・取組 ③課題への取組
		書くこと	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た時事問題や自分の意見を論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 扱われている時事問題について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: エッセイライティングの手法に則り論理を展開し、説得力のある文章を書こうとしている。	①定期考査 ②授業中の言語活動の理解度・取組 ③課題への取組
	中間考査			
	UNIT12 “障害・ 平等と権利” UNIT13 “環境問題と取組” UNIT14 “職業・人生設計” UNIT15 “人間関係・誠実さ”	聞くこと	a: 音声や相手の発話を自然なスピードで聞き、内容を把握できる。会話では、積極的に相手の意見に耳を傾ける能動的姿勢がある。 b: 聞き取った内容や扱われている時事問題を自分が知っている背景知識と結びつけて、多角的に理解することができる。 c: 音声や相手の発話を聞き、不明点があれば質問をするなど、理解しようと努めている。	①定期考査 ②授業中の言語活動の理解度・取組 ③課題への取組
		読むこと	a: 読んだ時事問題の要旨をまとめることができる。本単元の重要語彙や表現について理解している。 b: 扱われている時事問題を知識として吸収しており、表現活動に必要な表現を理解することができている。 c: 扱われている時事問題に対して、自分の意見を持つことができる。	①定期考査 ②授業中の言語活動の理解度・取組 ③課題への取組
		話すこと（発表）	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 扱われている時事問題の内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: 自分の意見を効果的に相手に伝えるために、プレゼンテーション・議論・討論などに必要なスキルを、適宜場面に応じて使いこなし相手に伝えようとしている。	②授業中の言語活動の理解度・取組 ③課題への取組
		書くこと	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た時事問題や自分の意見を論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 扱われている時事問題について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: エッセイライティングの手法に則り論理を展開し、説得力のある文章を書こうとしている。	①定期考査 ②授業中の言語活動の理解度・取組 ③課題への取組
	期末考査			
3	UNIT16 “信仰・迷信・超常現象” UNIT17 “人生設計・出産・子育て” UNIT18 “人類・環境・宇宙・”	聞くこと	a: 音声や相手の発話を自然なスピードで聞き、内容を把握できる。会話では、積極的に相手の意見に耳を傾ける能動的姿勢がある。 b: 聞き取った内容や扱われている時事問題を自分が知っている背景知識と結びつけて、多角的に理解することができる。 c: 音声や相手の発話を聞き、不明点があれば質問をするなど、理解しようと努めている。	①定期考査 ②授業中の言語活動の理解度・取組 ③課題への取組
		読むこと	a: 読んだ時事問題の要旨をまとめることができる。本単元の重要語彙や表現について理解している。 b: 扱われている時事問題を知識として吸収しており、表現活動に必要な表現を理解することができている。 c: 扱われている時事問題に対して、自分の意見を持つことができる。	①定期考査 ②授業中の言語活動の理解度・取組 ③課題への取組

		話すこと（発表）	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 扱われている時事問題の内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: 自分の意見を効果的に相手に伝えるために、プレゼンテーション・議論・討論などに必要なスキルを、適宜場面に応じて使いこなし相手に伝えようとしている。	②授業中の言語活動の理解度・取組 ③課題への取組
		書くこと	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た時事問題や自分の意見を論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 扱われている時事問題について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: エッセイライティングの手法に則り論理を展開し、説得力のある文章を書こうとしている。	①定期考査 ②授業中の言語活動の理解度・取組 ③課題への取組
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度